

校舎・体育館等の配置(案)

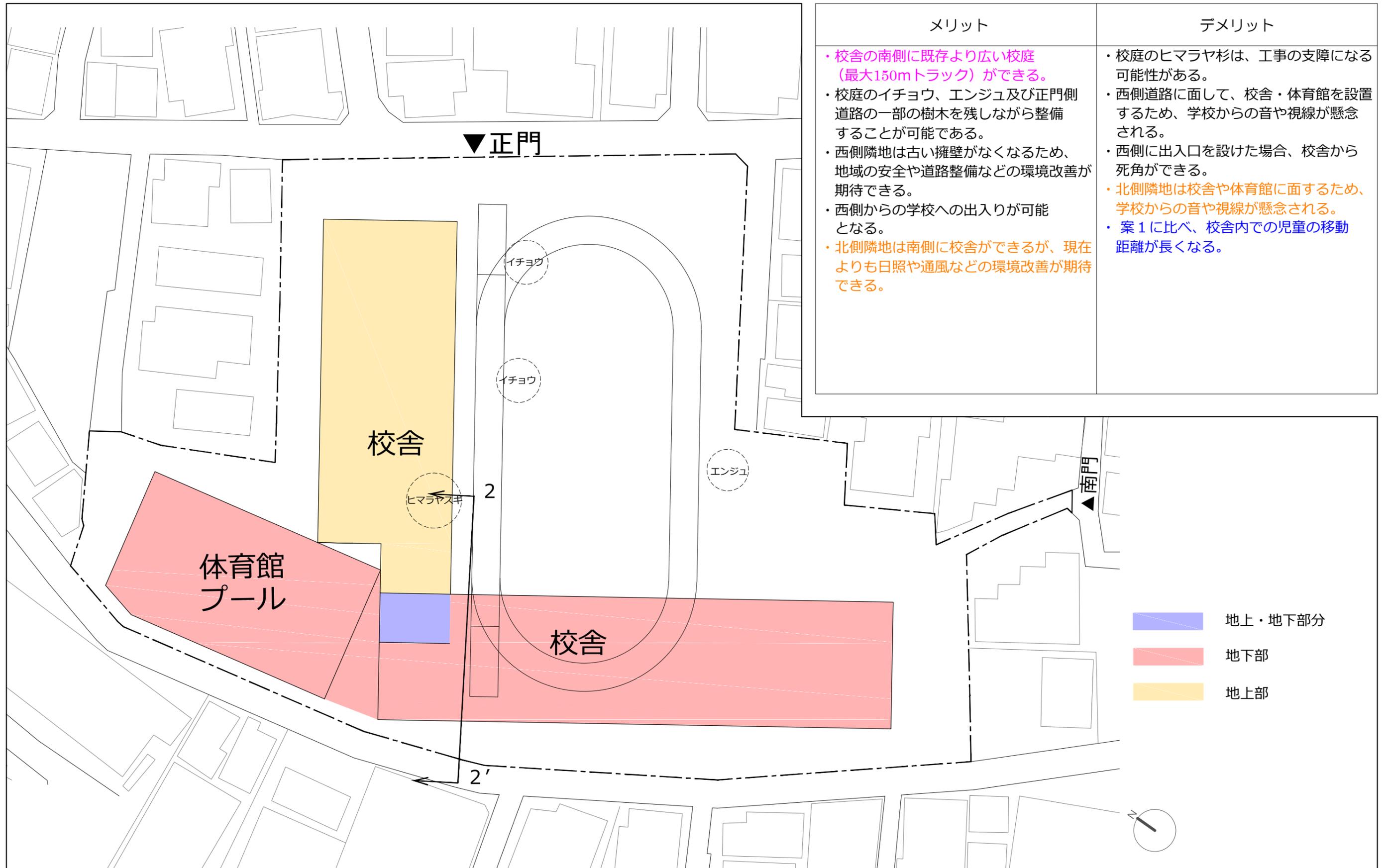
校舎配置のメリット・デメリット



メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> 校舎の東側に既存より広い校庭（最大120mトラック）ができる。 校庭のイチョウ、エンジュ及び正門側道路の一部の樹木を残しながら整備することが可能である。 西側隣地は古い擁壁がなくなるため、地域の安全や道路整備などの環境改善が期待できる。 西側からの学校への出入りが可能となる。 北側隣地は既存校舎がなくなるため、日照や通風などの環境改善が期待できる。 校舎内での児童の移動距離が短くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭のヒマラヤ杉は、工事の支障になる可能性がある。 西側道路に面して、校舎・体育館を設置するため、学校からの音や視線が懸念される。 西側に出入口を設けた場合、校舎から死角ができる。 北側隣地は運動場や体育館に面する為、学校からの音や視線が懸念される。

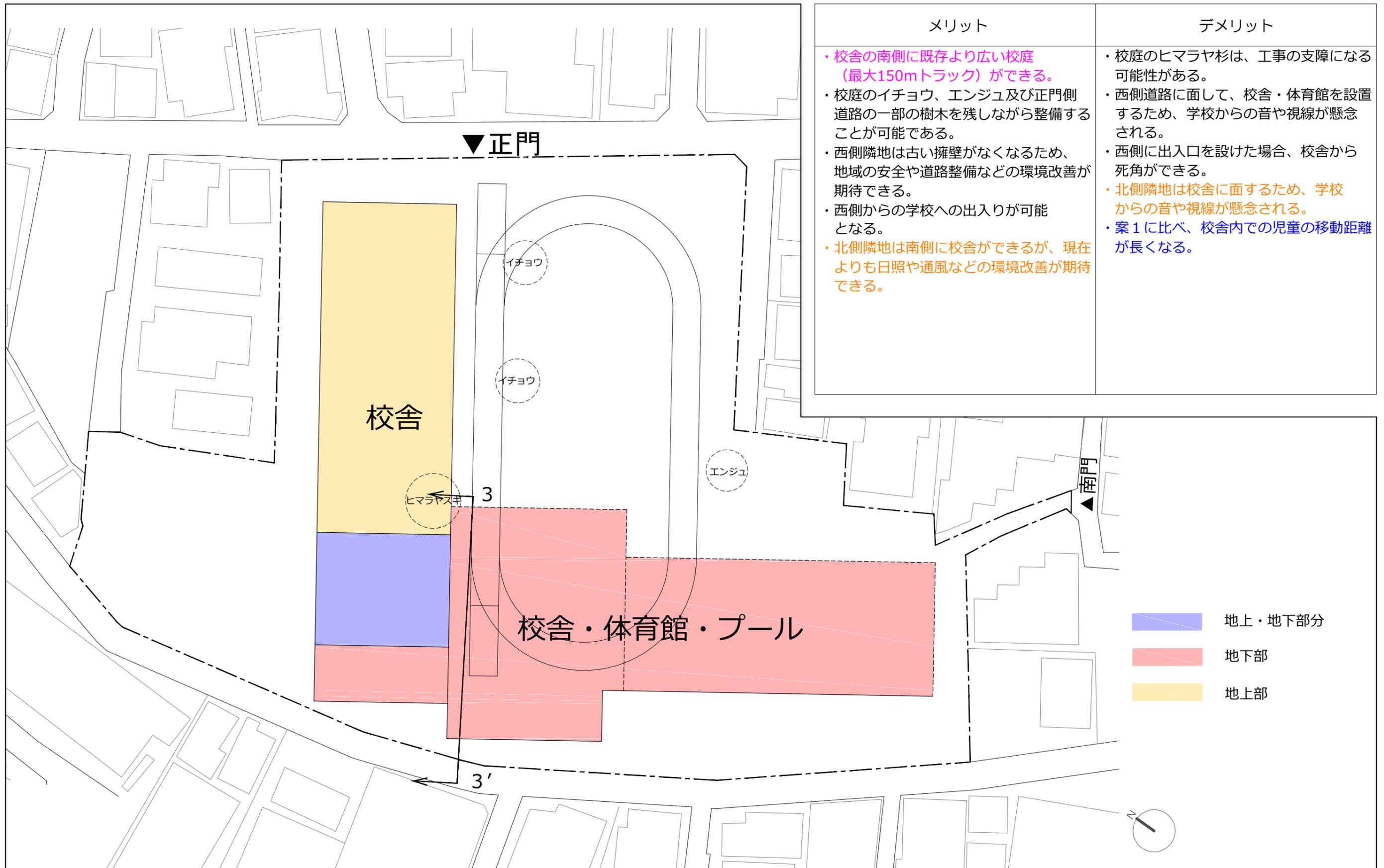
校舎配置のメリット・デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> 校舎の南側に既存より広い校庭（最大150mトラック）ができる。 校庭のイチョウ、エンジュ及び正門側道路の一部の樹木を残しながら整備することが可能である。 西側隣地は古い擁壁がなくなるため、地域の安全や道路整備などの環境改善が期待できる。 西側からの学校への出入りが可能となる。 北側隣地は南側に校舎ができるが、現在よりも日照や通風などの環境改善が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭のヒマラヤ杉は、工事の支障になる可能性がある。 西側道路に面して、校舎・体育館を設置するため、学校からの音や視線が懸念される。 西側に出入口を設けた場合、校舎から死角ができる。 北側隣地は校舎や体育館に面するため、学校からの音や視線が懸念される。 案1に比べ、校舎内での児童の移動距離が長くなる。



校舎配置のメリット・デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> 校舎の南側に既存より広い校庭（最大150mトラック）ができる。 校庭のイチョウ、エンジュ及び正門側道路の一部の樹木を残しながら整備することが可能である。 西側隣地は古い擁壁がなくなるため、地域の安全や道路整備などの環境改善が期待できる。 西側からの学校への出入りが可能となる。 北側隣地は南側に校舎ができるが、現在よりも日照や通風などの環境改善が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭のヒマラヤ杉は、工事の支障になる可能性がある。 西側道路に面して、校舎・体育館を設置するため、学校からの音や視線が懸念される。 西側に出入口を設けた場合、校舎から死角ができる。 北側隣地は校舎に面するため、学校からの音や視線が懸念される。 案1に比べ、校舎内での児童の移動距離が長くなる。



案1 校舎配置のメリット・デメリット

	メリット	デメリット
案1	<ul style="list-style-type: none"> 校舎の東側に既存より広い校庭（最大120mトラック）ができる。 校庭のイチヨウ、エンジュ及び正門側道路の一部の樹木を残しながら整備することが可能である。 西側隣地は古い擁壁がなくなるため、地域の安全や道路整備などの環境改善が期待できる。 西側からの学校への出入りが可能となる。 北側隣地は既存校舎がなくなるため、日照や通風などの環境改善が期待できる。 校舎内での児童の移動距離が短くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭のヒマラヤ杉は、工事の支障になる可能性がある。 西側道路に面して、校舎・体育館を設置するため、学校からの音や視線が懸念される。 西側に出入口を設けた場合、校舎から死角ができる。 北側隣地は運動場や体育館に面する為、学校からの音や視線が懸念される。
案2	<ul style="list-style-type: none"> 校舎の南側に既存より広い校庭（最大150mトラック）ができる。 校庭のイチヨウ、エンジュ及び正門側道路の一部の樹木を残しながら整備することが可能である。 西側隣地は古い擁壁がなくなるため、地域の安全や道路整備などの環境改善が期待できる。 西側からの学校への出入りが可能となる。 北側隣地は南側に校舎ができるが、現在よりも日照や通風などの環境改善が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭のヒマラヤ杉は、工事の支障になる可能性がある。 西側道路に面して、校舎・体育館を設置するため、学校からの音や視線が懸念される。 西側に出入口を設けた場合、校舎から死角ができる。 北側隣地は校舎や体育館に面するため、学校からの音や視線が懸念される。 案1に比べ、校舎内での児童の移動距離が長くなる。
案3	<ul style="list-style-type: none"> 校舎の南側に既存より広い校庭（最大150mトラック）ができる。 校庭のイチヨウ、エンジュ及び正門側道路の一部の樹木を残しながら整備することが可能である。 西側隣地は古い擁壁がなくなるため、地域の安全や道路整備などの環境改善が期待できる。 西側からの学校への出入りが可能となる。 北側隣地は南側に校舎ができるが、現在よりも日照や通風などの環境改善が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭のヒマラヤ杉は、工事の支障になる可能性がある。 西側道路に面して、校舎・体育館を設置するため、学校からの音や視線が懸念される。 西側に出入口を設けた場合、校舎から死角ができる。 北側隣地は校舎に面するため、学校からの音や視線が懸念される。 案1に比べ、校舎内での児童の移動距離が長くなる。

